

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年5月26日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：松浦長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○松浦総務課長 それでは、皆様のお手元の広報日程に基づきまして、私の方から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、2.、5月26日金曜日、（1）番の審査会合でございます。こちらは、議題といたしまして、中部電力・浜岡発電所につきまして、敷地周辺の活断層評価についてのコメント回答を中部電力の方から頂く予定でございます。

続きまして、2ページ目、6月1日木曜日、（5）番、廃炉等に伴う放射性廃棄物の規制に関する検討チームでございます。こちらは、先日の当該規制に関する検討チームにおきまして、中深度処分に係る規制基準等の整備に向けて、骨子案について事務方の方から説明いたしましてコメントを頂いたところでございます。引き続き、今回は審査ガイドの案を事務方が作成いたしましたので、その案につきまして有識者の方から御意見を伺う予定でございます。

続きまして、同じく2ページ目、委員の現地調査についてでございます。

（2）番、こちらはJAEAの原子力科学研究所及び核燃料サイクル工学研究所、いわゆる第三開発室の現地視察でございます。6月2日金曜日に田中知委員が第三開発室の現地視察を行う予定でございます。

私の方からは以上です。

<質疑応答>

○司会 いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヒガシヤマさん。

○記者 朝日新聞のヒガシヤマでございます。

最後のプルトニウム燃料第三開発室の視察ですけれども、これは何か目的みたいなものがあつたら教えてほしいのですが。

○松浦総務課長 これも規制委員会の方で何回か議論しておりますけれども、第三開発室については、もんじゅの燃料等を作るということで、もし燃料を作るのであれば、加工施設の許可を得なければならないという経緯でずっときておりましたけれども、結局、

もんじゅが廃止ということになりましたので、燃料を使わないと。そうだとすれば、加工施設ではなく使用施設ということになります。

そういった中で、いわゆる安全上重要な施設があるか、ないかという評価をJAEAの方に求めたところ、4月に安全上重要な施設はないという報告書を事務方の方に頂いたところでございます。現在、この報告書については、事務方の方で精査しておりますけれども、今回、その報告書だけではなく、いわゆる書面だけではなく、田中知委員自らが現地をしっかりと御覧になって、安全上重要な施設がないことについての確認を御自身の目でされるということでございます。そういう意味では、安全上重要な施設があるか、ないかの評価の一環だと考えていただければいいと思います。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。ハナダさん。

○記者 NHK、ハナダです。

先ほど衆院でも更田委員の委員長人事が同意されて、これで国会から同意されて委員長に就任される見通しになったと思うのですが、何か御本人から今日の同意を受けてコメントがあれば教えていただきたいのですが、何かありますか。

○松浦総務課長 特にございません。コメントについては、内閣の方から国会の方に提出されたときに皆様にお伝えしたところがございますし、現在でもホームページの方に提示されているところがございます。いずれにしても、正式な任命は9月19日になると思いますので、そのときに、19日当日かどうかは分かりませんが、記者会見をさせていただいて皆様の質問に答えさせていただきたいと思っております。

○記者 分かりました。

あと、済みません、木曜日の審査会合、これはまだ日程が入っていないだけで、ありそうだと思っておいていいのですか。

○松浦総務課長 来週は、審査会合については、事業者の都合がつかないということで、火曜日、木曜日ともないというふうに聞いております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上とします。お疲れさまでした。

—了—